

# 道徳通信

貝塚市立第五中学校  
平成25年度 第1号

## なぜ、道徳の時間があるの？



1学期もあっという間に半分が過ぎようとしています。1学期をスタートして、これまでに何回か道徳の授業がありました。その中で特に印象に残った話がありましたか。深く考えることができたでしょうか。

道徳の時間は、『自分を見つめる』時間、『道徳的価値を自覚する』時間、『主体的に道徳的実践力を身につけていく』時間です。

道徳の時間に学習することで人間としての豊かな心、道徳性を育むことができます。それでは、豊かな心とは、一体何でしょうか・・・

- ☆ 善を行うことを喜び、悪を憎む感情、人間としてよりよい生き方を志向する感情
- ☆ それぞれの場面において善悪を判断する能力、  
人間としてどのように対処することがのぞまれるか判断する力
- ☆ 道徳的価値を実現しようとする意志の働き

これらのことを“道徳性”といい、道徳性をみなさんに身につけてもらうことを目標として道徳の時間があります。

道徳の授業の中では、みなさんと一緒に人間としての生き方について考えられたらいいな、と思っています。自分とは違う考えの人の意見を聞くことで、自分の考えが深まったり、考え方の違いが理解できたりします。自分の考えを発表するのは少し苦手だな、まだ、自分の考えが定まらないな、ということもあるかもしれませんが、自分の考えを発表し合い、クラスの中で共有することで、より深まっていくので、思い切って発表してほしいと思っています。



みなさんのクラスには、それぞれ1年間の目標や1学期の目標が掲示されていますね。みなさんがそれぞれ考えている目標があるように、五中の中にも道德の教育目標というものがあります。それは、みなさんに“こんな力”をつけてもらいたいという目標です。

五中の柱となるのが校訓です。校訓にある「勤勉・自律・敬愛」の中に含まれている意味とは・・・校長先生が入学式の時にお話してくださったのを覚えているでしょうか。道德の授業の中でも、この校訓を大切にして、みなさんと一緒に考えられる授業を展開していきたいと思っています。

～五中の校訓より～

**勤勉** 正しい判断の上で立って自主的に行動し、自己の向上に努める

**自律** いろいろなものの考え方があることを理解し、寛容の心を持ち、謙虚に学ぶ

**敬愛** 生命の尊さを理解し、かけがえのない命を尊重する

～さらに、各学年では次のことを特に大切な目標と考えています～

1年生

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行する。
- ・暖かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。



2年生

- ・多くの人々の善意や支えがあることに気づき、それらによって日々の生活や現在の自分があることに感謝する気持ちを育てる。
- ・正義を重んじ、だれに対しても公正、公平にし、差別や偏見のない社会の実現に努める。



3年生

- ・自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。
- ・自己が所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し、集団生活の向上に努める。